

さが・がんと生殖医療のネットワーク

Ver.1.0 2020年3月27日



はじめに

がん治療の進歩により、がんは治る病気になってきました。でも、子供を作るための機能（生殖機能：せいしよくきのう）が命と引き換えに失われることがあります。いままではそれはしょうがないことでした。

ところが近年の医学の進歩によって、がん治療の前に失われるかもしれない生殖機能を温存することが可能になりました。

具体的には、治療前に精子や卵を体外に取り出し、がんを克服して子供を持てる状況になるまで安全に保存し、さらに妊娠につなげる技術が確立したのです。これを妊娠する機能を温存するという意味で、妊孕性（にんようせい）温存治療といい、産婦人科医の中でも専門の教育・研修を受けた「生殖医療専門医」が担当

します。

ただし、これが実現するには、患者さんとがん治療医が、そういった「生殖医療専門医」とつながる必要がありますが、簡単ではありません。なぜなら、ほとんどのがん治療医の身近に「生殖医療専門医」がないのが現状だからです。

「さが・がんと生殖医療のネットワーク」では、そのお手伝いをすることを目標とし、佐賀大学医学部附属病院がんセンターの一部として、2020年3月より活動を開始しました。

患者さん、もしくはその保護者の皆様へ

まずは、がん治療を担当している医師に、今後の治療のなかで生殖機能がどうなるのかをお尋ねください。もし、失われる可能性があるのであれば、妊孕性温存ができるのかをご相談ください。

その他情報については、「一般・患者と医療者向けリンク」をご参照ください。

費用について

がん・生殖医療は、基本的に保険診療ではありません。そのため、全ての治療費用は全額自費となります。

がん治療医の皆様へ

これから行うがん治療のために、妊孕性を失う可能性のある患者さんを担当し

たら、ぜひ「妊孕性温存治療の希望があるかどうか」をお尋ねください。

疾病ごとや使用薬剤ごとの適応などは、下記のガイドラインに詳細に記載されています。

もし、対応に迷う場合は、時間的な余裕が少ないことも多いので、がん生殖を担当することができる生殖医療専門医に直接お尋ねください。

公表されているガイドライン

「小児、思春期・若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン 2017 年版」日本癌治療学会（編）金原出版 定価 3000 円＋税

出版社 HP:

<https://www.kanehara-shuppan.co.jp/books/detail.html?isbn=9784307301299>

日本癌治療学会 HP 内公開サイト

<http://www.jsco-cpg.jp/fertility/>

佐賀県内、周辺のがん妊孕性温存治療が可能な施設

現在、県内（武雄市）に日本産科婦人科学会に登録申請中（2020 年 3 月現在）

の施設が 1 施設、近隣（福岡県大川市）に佐賀大学産科婦人科の関連施設で日

本産科婦人科学会に登録承認されている施設が 1 施設あります。今後、実施可

能な施設が増え次第、追加掲載予定です。

その他の隣接県の情報は「関連情報」のページをご参照ください。

注：佐賀大学医学部附属病院産科婦人科では、がん妊孕性温存に必要な生殖医療は行っていません。当該部門は関連病院である高木病院で活動しております。

医療法人社団 高邦会 高木病院 不妊センター

生殖医療専門医：小島加代子医師、野見山 真理医師、有馬 薫医師

施設 HP：<http://takagi.kouhoukai.or.jp/funin-c/>

〒831-0016 福岡県大川市酒見 141-11

電話（代表）：0944-87-0001

医療法人永世会 谷口眼科婦人科

生殖医療専門医：谷口 憲医師

施設 HP：<http://eiseikai-artclinic.com/>

〒843-0022 佐賀県武雄市武雄町大字武雄 385-2

電話：0954-23-3170

診療情報提供用紙について

本ネットワーク独自のものは準備中です。

日本がん・生殖医療学会で作成された様式は下記の通りですので、必要に応じ

てご利用ください。

ワード版：

http://www.j-sfp.org/cooperation/data/information_provision0120180307.docx

PDF版：

http://www.j-sfp.org/cooperation/data/information_provision0120180307.pdf

関連情報

近隣県の情報について

福岡県：福岡がん・生殖医療症例検討会

http://www.j-sfp.org/cooperation/data/OFCjpn_research_fukuoka1905.pdf

長崎県：長崎大学がん生殖・妊孕性温存 WG

http://www.j-sfp.org/cooperation/data/OFCjpn_research_nagasaki_0911.pdf

大分県：がん・生殖医療フォーラム大分

http://www.j-sfp.org/cooperation/data/OFCjpn_research_oita_0101.pdf

鹿児島県：鹿児島県がん・生殖医療ネットワーク

http://www.j-sfp.org/cooperation/data/OFCjpn_research_kagoshima1905.pdf

沖縄県：沖縄がん・生殖医療ネットワーク

http://www.j-sfp.org/cooperation/data/OFCjpn_research_okinawa1904.pdf

一般・患者と医療者向けリンク

- 日本がん・生殖医療学会 [がん治療と妊娠ホームページ](#)

<http://www.j-sfp.org/index.html>

- 国立がん研究センター がん情報サービス 妊孕性～がんの治療と生殖機能の影響について～

https://ganjoho.jp/public/diagnose/diagnosis/fertility/fertility_01.html

- 「小児、思春期・若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン

2017年版」日本癌治療学会（編）金原出版 定価 3000円＋税

出版社 HP:

<https://www.kanehara-shuppan.co.jp/books/detail.html?isbn=9784307301299>

日本癌治療学会内公開 HP

<http://www.jsco-cpg.jp/fertility/>

当ネットワークの今後について

ホームページの拡充だけでなく、がん治療医への啓発のために県内がん拠点病院を中心に講演活動を行う予定です。これはがん治療医が妊孕性温存治療を知らないために、妊孕性温存が可能な患者さんの貴重な機会を喪失させないことが目的です。

今後、佐賀の妊孕性温存治療にかかわる皆様（患者さん、がん治療医、生殖医療専門医）のお力になるために努力していきます。

この文書のお問い合わせ先

佐賀大学医学部附属病院

産科婦人科 中尾佳史